

(S29-24 用)

研究課題名	血管内治療後の皮膚灌流圧値の推移評価と虚血性潰瘍の治癒予測:多施設前向き研究
研究期間	西暦 2017年 10月 16日 ~ 西暦 2019年 6月 30日 (登録期間:2018年12月末)
研究の目的と意義	重症虚血肢に対する血管内治療 (endovascular treatment: EVT)が積極的に行われています。虚血性潰瘍や壊死を治癒させるためには、十分な血流が必要ですが、その指標として皮膚灌流圧検査(Skin Perfusion Pressure: SPP)が広く用いられています。今回の多施設前向き研究では EVT 後、SPP を複数回記録し、SPP の推移と虚血性潰瘍の治癒との関連を明らかにすることを目的に実施します。 SPP 値の推移、虚血性潰瘍治癒との関連を解明することで、潰瘍治癒の予測、追加治療の必要性有無の判断が可能になると考えられます。
研究方法	下肢動脈閉塞性病変が認められた患者さんのうち、対象となる基準を満たした患者さんの治療に関する情報をカルテより収集し、解析を行ないます。具体的には、研究参加施設の診療録から、患者さんの背景、病状、検査結果、治療後の情報、追跡調査を行ないます。 本研究では、新たな検査や投薬等を行わず、日常診療の中からの情報のみを用いて行ないますので、患者さんへの新たな負担等は発生しません。
個人情報の保護、研究参加の拒否について	利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。 また、本研究への参加拒否を希望される患者さんについては、担当医師にお申し出ください。
結果の公表	研究で得られた結果は、学会、医学専門誌への発表を予定していますが、その際にも、患者さんの名前など対象者を特定できる情報は含まれません。
問合せ先	【研究責任者】 京都第二赤十字病院 循環器内科 医長 椿本 恵則 〒602-8026 京都市上京区釜座通丸太町上ル春帯町 355-5 TEL : 075-231-5171 (代) FAX : 075-256-3451 (代)